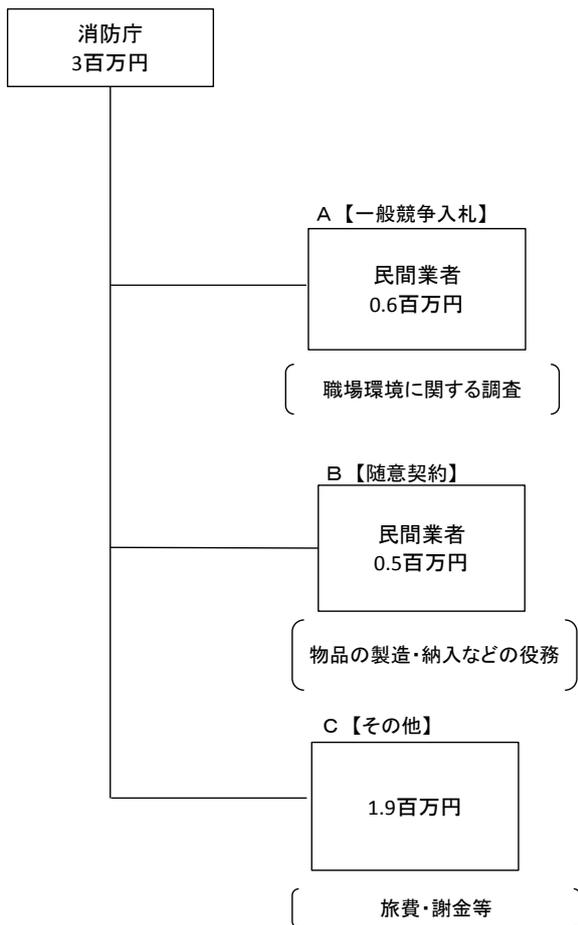


平成25年行政事業レビューシート (総務省)									
事業名	大規模災害時等に係る惨事ストレス対策の検討に要する経費 (復興関連事業)		担当部局庁	消防庁		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	消防・救急課		課長 稲岡 伸哉			
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	Ⅶ-4 消防防災体制の充実強化					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	労働安全衛生法		関係する計画、通知等	-					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災後における消防職団員の惨事ストレスの状況やこれまでの惨事ストレス対策の実施状況を踏まえつつ、今後発生が危惧される大規模災害等に備え、国・都道府県・消防本部等の各般各層における惨事ストレス対策の充実・強化を図るため、より効果的な惨事ストレス対策について検討を行う。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者や消防関係者を委員として「大規模災害時等に係る惨事ストレス対策研究会」を開催</li> <li>・研究会において、都道府県、消防本部、消防団、消防職団員を対象に惨事ストレス実態調査を実施</li> <li>・先進的な取組を行っている消防本部や消防団に対し、現地調査を実施</li> <li>・検討結果を報告書に取りまとめ全国の消防本部や消防団等に配布</li> </ul>								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算状況	当初予算	-	-	8	-	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-	-		
		計	-	-	8	-	-		
	執行額		-	-	3	-	-		
執行率 (%)		-	-	38%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	消防職団員の惨事ストレスの軽減			成果実績	-	-	-	-	
				達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	研究会の開催			活動実績 (当初見込み)	回	-	-	4	-
						( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	-		算出根拠	消防職団員の惨事ストレスの軽減成果を数値で表すことは困難					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	計								

事業所管部局による点検						
	項目	評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	惨事ストレスに関する情報不足や対応できる専門家が少ないことから、地方自治体での体制を整備することが課題とされており、現段階では国費で対応する必要がある。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	実態調査に要する経費は一般競争入札とするなど競争性を確保しながら必要最小限の支出に限定した。不用率については、一般競争入札の結果、予算よりも低額となったこと等による。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
事業性の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	研究会における検討結果は報告書として全国の消防本部や消防団等に配布されており、今後の活用が期待される。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-				
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名	
点検結果	本事業による検討結果を踏まえ、全国の地方公共団体において、今後、大規模災害等が発生した場合、より効果的な惨事ストレス対策への取り組みにつながることを考えられる。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	平成24年度で終了。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	平成24年度で終了。					
備考						
関連する過去のレビューシートの実業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	0183

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位: 百万円)

A. 株式会社全国試験運営センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消防防災等庁費	惨事ストレス実態調査	0.6			
計		0.6	計		0
B. ミナトメイワ印刷株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消防防災等庁費	報告書製本印刷	0.5			
計		0.5	計		0
C.その他			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	大規模災害時等に係る惨事ストレス対策研究会旅費	0.1			
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額が  
 支出されている者  
 について記載す  
 る。費目と使途の  
 双方で実情が分  
 かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社全国試験運営センター	惨事ストレス実態調査	0.6	12	50%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ミナトメイワ印刷株式会社	大規模災害時等に係る惨事ストレス対策研究会報告書製本印刷	0.5	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人	旅費	0.1	-	-
2	個人	旅費	0.1	-	-
3	個人	旅費	0.1	-	-
4	個人	旅費	0.1	-	-
5	個人	旅費	0.1	-	-
6	個人	旅費	0.1	-	-
7	個人	旅費	0.1	-	-
8	個人	旅費	0.1	-	-
9	個人	旅費	0.1	-	-
10	個人	旅費	0.1	-	-